



▲福島県民の森(大玉村)で開催された植樹祭にて



▲大玉村の子供達と記念撮影



▲学生の部で県知事賞を受賞された有馬幸さん

いただきました。デザインコンペの入賞作品の一部は今後実際に制作されるそうです。森林管理局の庁舎には前年までの作品が使われていて、どれもとてもうらやましい逸品でした。私も将来応募してみたいです！

「長野県民は雪かきが得意なので泥かきもあつという間でした。」
そう笑顔でお話される様子から、前向きさと熱意を感じました。長野は前に進んでいることを皆様に御報告いたします。
切つて、使つて、植えて、育てる。災害が起きても立ち止まらず、消費者の私達が使うことで、止まりそうになったサイクルもまた廻していけます。だから私も木の良さを伝えて、木を使っていきます。

第2回ふくしま植樹祭には、17年度みどりの女神の野中葵さんと一緒に福島へ。福島の魅力には、美味しいフルーツや野菜も沢山あります。本当になんでも美味しくて羨ましい。そしてなにより完全検査体制によつて最も安全です。応援の意味を込めて福島産品を選んでいきたいと思っています。
植樹祭では森林セラピーヨガも初めて体験させて頂きました。自然の中で深く呼吸するヨガは心身共にリラックスを与えてくれます。私の本業であるダンスも呼吸はとても大切ですので共通点があります。本当に面白い！
私はミス日本受賞時にお話した抱負は「いつか自分の手で木材インテリアを作りたい」でした。

先日、東京木材相互市場の吹上市場行われた木材ふれあいまつりでは、木材製品に囲まれた空間で、頭にイメージが湧いてきてすごくわくわくしました。
最近よく聞く「木育」。全国どこに行っても力を入れていると感じておりますが、特に子供達が清水寺と同じ建築技術でジャングルジムを組み立て、解体しながら大工さんになって遊べるブースは大人気でした。子供達はすごく集中してキラキラしていました。
スタッフの方の「日本の伝統を楽しみたい。の言葉が印象的です。」
10月30日、中部森林管理局主催の「ブランド木材を用いた新空間デザインコンペ」の審査と表彰式では、優秀作品を表彰。そして学生部門の応募作品もいくつも入賞しており、インスピレーションを沢山いただきました。

さて、その表彰式の後には、台風19号で甚大な被害を被った北信木材センターの視察と激励に参りました。あの水没してしまった新幹線車両基地がすぐ近くです。自分の目で見た風景は想像以上の衝撃でした。事務所は机の高さまで水で浸かってしまい、木材の自動仕分けの機械も壊れてしまいました。にもかかわらず視察時点で、木材はキレイに整頓されておりました。泥が多少はついていましたが、ひとつひとつ洗い落とされたそうです。
職員皆様の大変な努力があったことと思います。印象に残っている言葉があります。

森林に関わる各地のイベントに参加

台風被害に見舞われた長野県を視察

みどりの 女神が行く！

藤本麗華 (ふじもと れいか)

